



総会 第16回定時総会

周作クラブ会報

(第65号)
2016年11月20日発行



◆主な記事◆

総会関連報告	1・4・6面
「周作忌」報告	2・3・4面
原点の旅・決算報告	5・6・7面
予算案・会則	8・9・10面
長崎文学館便り	11面
周作クラブ長崎便り	12面
連載「樹座30年」	13面
遠藤周作学芸報告(長崎・大阪)	13面

周作クラブに新幹事くわわる 創立16年を迎え更なる充実へ

2016年9月29日(木)午後4時半から、東京神田一ツ橋・如水会館において「周作クラブ」第16回定時総会が開かれた。遠藤周作没後20年となる今年度の総会出席者は29名、委任状223名(当日の会員総数は392名)で会は成立、予定された議題をすべて審議・承認して夕刻5時過ぎに終了した。

周作クラブ定時総会は29日、如水会館スターホールで定刻の午後4時半から行われた。

まず、会員担当の宮辺尚幹事から、現在の会員数について報告がなされた。この1年間における入会者は31名、退会者は31名で、前年度比では増減ゼロとなった。すなわち今年度8月1日現在の会員総数は393名(周作クラブ長崎は除く)。

この報告のあと、幹事会からの推薦で会員の大原雄さんが議長として選出され、議事にうつった。

●第1号議案——前年度事業報告

(高橋千劍破幹事)
昨年9月29日の「周作クラブ」総会

から本年8月までの全事業は、9月29日の周作忌(如水会館)、1月31日の新年会(如水会館レストランジュピター)、4月16日の文学セミナー、5月21〜22日の遠藤文学原点の旅(予定では長崎と大分。地震のため長崎のみの1泊に変更)、そして4回の会報発行であることが報告された。

●第2号議案——前年度会計報告

(宮辺尚幹事)

前年度の収入は、前々年度からの繰越をふくめて2,265,017円、支出は1,374,308円。したがって今年度への繰越金は890,709円となること、さらにその内訳が報告されたのち、会計監査の光武喜代人さんからの監査結果が報告され、拍手で承認された(詳細は会報6ページ参照)。

●第3号議案——役員・委員の改選

(加藤宗哉幹事)

クラブの発展のため、新たに2名の幹事——今井真理(前総務委員)、一田佳希(前編集委員)両氏を幹事に迎えること、ならびに新総務委員として伊東智香、益田恵、清水優子の3氏を迎えることが提案され、拍手で承認された。(新幹事・委員の詳細は会報4ページ参照)

●第4号議案——会則改定

幹事の増加にともない、会則の第4章第9条(3、幹事)の「3名」を「3

〜7名」に変更することが提案され、全員が了承した。

●第5号議案——今年度事業計画

(高橋幹事)

会報の発行(4回)と、1月末の新年会、4月の文学セミナー、5月21〜22日の遠藤文学原点の旅(軽井沢と小諸・上田……会報5ページに詳細と申し込み先等の案内あり)などが計画中であることが発表された。

●第6号議案——今年度予算

(宮辺尚幹事)

今年度の収入見込は、2,111,109円、支出見込は1,618,880円、予備費が492,229円で、その内訳が説明されて承認を受けた。

以上の6議案ですべての審議を終了し、この後「周作クラブ長崎」の代表世話人・高尾直子さんの挨拶があり、第18回定時総会は午後5時過ぎ閉会した。なお、同会場で6時から周作忌の特別イベント、作家・林真理子さんによる講演「遠藤先生の思い出」と、コーラスグループ「ザ・ダイアモンドリリーズ」による「ディープ・リバー(深い河)」等の合唱が行われ、全150席がまたたくまに埋めつくされて立ち見まで出る盛況となった。

(記・加藤宗哉/写真・田村百合子)